

2019年
WWL (ワールド・ワイド・ラーニング)
コンソーシアム構築支援事業

管理機関	静岡県教育委員会
事業拠点校	静岡県立三島北高等学校
事業連携校	静岡県立静岡高等学校
	静岡県立沼津東高等学校
	静岡市立高等学校
	宮城県仙台二華中学校・高等学校
	長崎県立長崎東高等学校



ふじのくにアドバンスト・ラーニング・コンソーシアムの構築

課題意識：

- ①静岡県の人口社会減
→ 高大接続のミスマッチ？
- ②SGHの取組：
研究の質 & 波及効果

FALCon評価委員会
(運営指導委員会)

事業の調査・分析・評価

県教育委員会 (管理機関)

運営組織委員会

事業の計画・運営・業務管理

目的：静岡県の高校生が個々の興味・関心・特性に応じてより高度な学習プログラムに参加

↓
イノベーティブな
グローバル人材の育成

ふじのくに地域・大学
コンソーシアム
(既存法人)

ふじのくにアドバンスト・
ラーニング・コンソーシアム
(FALCon)

ふじのくにグローバル・セミナー

県大学課

OFFICE
県地域外交課
在外事務所

アジアの高等教育体感コース

語学研修
STEM教育

県内外企業

水問題・SDGs
フィールドワーク

教育課程開発

三島北高 (拠点校)

課題研究に基づいた
社会起業の取組

Society5.0 &
静岡県地域外交体感コース

ふじのくにアドバンスト・
プレイスメント・システム構築

入学者選抜における
課題研究の評価

静岡高, 沼津東高, 静岡市立高 (県内連携校)

グローバルな社会課題研究
「Multi-Dimensional Approach to SDGs」

ふじのくにAPS運用
(2021年～)

高校生が大学の設置する科目を受講し
評価を受けるシステム

課題研究指導委員会

課題研究指導

高校生国際会議の開催
(2021年)

SDGsを複数の視点からアプローチする
課題研究活動に関する
日本国内外の高校生による国際会議

仙台二華中・高, 長崎東高
(県外連携校)

1 「ふじのくにアドバンスト・プレイスメント・システム」の構築

- 「ふじのくに地域・大学コンソーシアム」との連携
・ 高大連携校における高校の自校単位として認定



- 地域・大学コンソーシアムを構成する大学の単位として認定するシステムを構築（高校在学中に修得）
- 大学入学者選抜における受験生の多面的評価に活用



ふじのくにアドバンスト・ラーニング・コンソーシアムの構築

課題意識：

- ①静岡県人口社会減
→ 高大接続のミスマッチ？
- ②SGHの取組：
研究の質 & 波及効果

FALCon評価委員会
(運営指導委員会)

事業の調査・分析・評価

県教育委員会 (管理機関)

運営組織委員会

事業の計画・運営・業務管理

目的：静岡県の高校生が個々の興味・関心・特性に応じてより高度な学習プログラムに参加

↓
イノベーティブな
グローバル人材の育成

ふじのくに地域・大学
コンソーシアム
(既存法人)

ふじのくにアドバンスト・
ラーニング・コンソーシアム
(FALCon)

ふじのくにグローバル・セミナー

県大学課

OFFICE
県地域外交課
在外事務所

アジアの高等教育体感コース

語学研修
STEM教育

教育課程開発

県内外企業

水問題・SDGs
フィールドワーク

ふじのくにアドバンスト・
プレイスメント・システム構築

↑
入学者選抜における
課題研究の評価

三島北高 (拠点校)

静岡高、沼津東高、静岡市立高 (県内連携校)

↑
課題研究に基づいた
社会起業の取組

グローバルな社会課題研究
「Multi-Dimensional Approach to SDGs」

Society5.0 &
静岡県地域外交体感コース

ふじのくにAPS運用
(2021年～)

高校生が大学の設置する科目を受講し
評価を受けるシステム

課題研究指導委員会

課題研究指導

仙台二華中・高、長崎東高
(県外連携校)

高校生国際会議の開催
(2021年)

SDGsを複数の視点からアプローチする
課題研究活動に関する
日本国内外の高校生による国際会議

2 「ふじのくにグローバル・セミナー」の企画・実施

○静岡県教育委員会が実施している海外研修をの拡充を検討

- 「海外インターンシップ」

 - Society5.0&静岡県地域外交体感コース

- 海外体験促進事業(カリフォルニア州立大学語学研修)

 - 県内大学海外連携大学語学研修コース

○新規事業

 - ミネソタ州立大学STEMセンター派遣



ふじのくにアドバンスト・ラーニング・コンソーシアムの構築

課題意識：
 ①静岡県の人口社会減
 ←高大接続のミスマッチ？
 ②SGHの取組：
 研究の質&波及効果

FALCon評価委員会
 (運営指導委員会)

県教育委員会 (管理機関)

目的： 静岡県の高校生が個々の興味・関心・特性
 に応じてより高度な学習プログラムに参加

事業の調査・分析・評価

運営組織委員会

事業の計画・運営・業務管理

↓
**イノベーティブな
 グローバル人材の育成**

ふじのくに地域・大学
 コンソーシアム
 (既存法人)

ふじのくにアドバンスト・
 ラーニング・コンソーシアム
 (FALCon)

ふじのくにグローバル・セミナー

県大学課

OFFICE
 県地域外交課
 在外事務所

アジアの高等教育体感コース

語学研修
 STEM教育

教育課程開発

県内外企業

水問題・SDGs
 フィールドワーク

ふじのくにアドバンスト・
 プレイスメント・システム構築

入学者選抜における
 課題研究の評価

三島北高 (拠点校)
 静岡高, 沼津東高, 静岡市立高 (県内連携校)

課題研究に基づいた
 社会起業の取組

Society5.0 &
 静岡県地域外交体感コース

グローバルな社会課題研究
 「Multi-Dimensional Approach to SDGs」

ふじのくにAPS運用
 (2021年～)

課題研究指導委員会

高校生国際会議の開催
 (2021年)

高校生が大学の設置する科目を受講し
 評価を受けるシステム

課題研究指導

SDGsを複数の視点からアプローチする
 課題研究活動に関する
 日本国内外の高校生による国際会議

仙台二華中・高, 長崎東高
 (県外連携校)

3

3 課題研究を取り入れた普通科高校の教育 課程開発とシラバスの開発

(1) 拠点校（三島北高）としての取り組み

ア 先進的なカリキュラムの実践

- 1・2年次：基礎学力と幅広い教養を身に付ける
- 3年次：進路を見据え、理科・地歴公民を中心

イ 学校設定科目 Environmental Science の開発

- 英語で学ぶ領域の設定
- 環境STEMを活用した文理融合科目

ウ 課題探究活動のシラバスと評価法の開発

- 「総合的な探求の時間」を真の探究活動の時間に
→ 学年全員の興味・関心によるチームづくり
- SGH「安全な水の確保」→
WWL「Multi-Dimensional Approach to SDGs」
- ゼミ形式による異学年集団の編成

エ 連携校と協働

- カリキュラム開発に関する合同会議の開催
- Classiのグループ機能を活用した情報交換・共有

ウ 「総合的な探究の時間」 シラバス開発に向けた取り組み

SGH学校設定科目(LWI, GWI)の取り組みから継続

(1) 「問題解決の流れ」

- * 疑似体験できるアクティビティ
- * フィールドワーク

(2) 継続的な振り返り

(3) スキルの習得

SDGs (令和元年度はNo.1～No.6)

不可分的・普遍的な課題群

- * 「自分ごと」としてのグローバルな視点

課題設定力
調べ学習以上
アクションと検証

「答えのない問い」
への耐性

生徒同士の学びの体系化

クラス横断型のゼミ

- * SDGsテーマ別集団編成
- * 複数の教員で担当
= ファシリテーター
- * 2年生が1年生を指導
(令和2年度～)

ウ 「総合的な探究の時間」 評価法の構築に向けた取り組み

R1.4.10 1年生初期指導 「重大な過ち」



H31.2.1 事業報告会
LWI・GWIクラス代表によるポスター発表

通常の学校の教育活動の範囲内

他校にも普及しうる形

外部と関わる
評価の機会

チーム発表

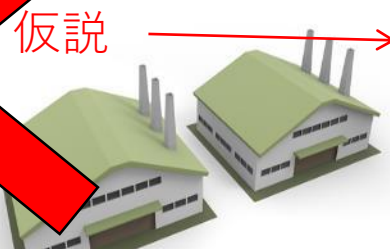
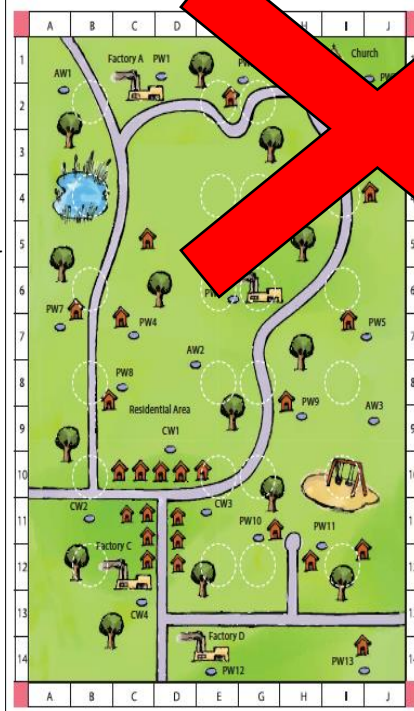
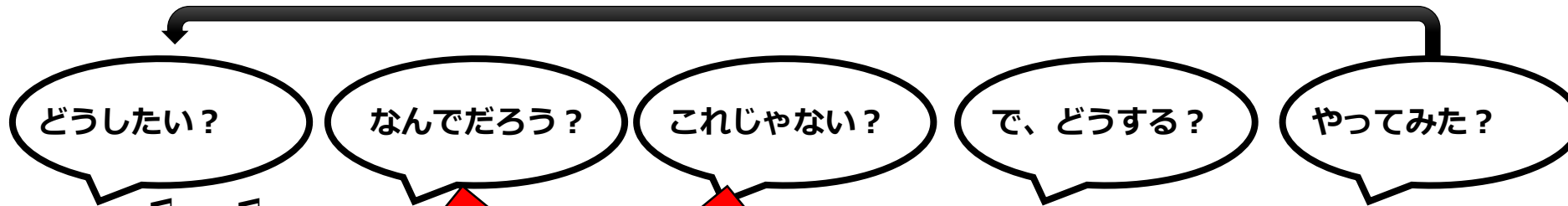
(紙芝居・ポスター)

ポートフォリオ的な
自己評価の
質的な充実

課題発見

フィールドワーク

個人レポート



井戸水がヒソに汚染されているのではないかと、**ハッピーにしたい人**

ゴール設定	原因	課題	解決策	実行
ハッピーにしたい人の現状と理想の差に注目	うまくいっていない原因はいくつもありそう	原因のなかで、これを解決すればもっともうまくいくのは?	課題を解決するための策。仮説を立て、検証して決定	誰が? 何を? いつまでに? 期待している成果は?